

安城市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画

令和8年4月1日
安城市教育委員会

<計画の趣旨>

教職員の心身の健康と教職員生活の充実を図り、教育のさらなる資質向上と新たなる教員人材の確保をめざし、「地道ではあるが、進取の精神に富んだ安城教育」を実現する。

<本市の現状> 令和6年度における小中学校別在校時間の状況（年間）

	100時間超	80時間超 ～100時間以下	45時間超 ～80時間以下	45時間以下
小学校	0.9%	2.9%	26.8%	67.5%
中学校	6.2%	7.6%	30.6%	55.5%

※作成を1月に見直すため、前年度の在校時間の集計を用いる。

<目標>

- ・年間平均の在校時間が小中学校ともに45時間以下が80%超になるように手立てを講じる。（第1段階）
- ・年間平均の在校時間が小中学校ともに30時間以内が80%超になるように手立てを講じる。（第2段階）
- ・年間平均の在校時間が小中学校ともに30時間以内が100%になるように手立てを講じる。（第3段階）

<実施方法>

- ・愛知県公立学校「働き方改革ロードマップ」に沿いながら、安城市の施策に関連したことを重点的に示す。
- ・教育委員会と学校が取組内容を明確にした計画表を、愛知県の働き方ロードマップとともに学校に配付する。
- ・教育委員会の取組と学校が取組状況を把握するため、校長会等とのヒアリングを実施する。
- ・前年度の各校からの在校時間を集約し、1月に計画を見直し、随時更新する。
- ・令和8年度より、在校時間調査の内訳を変更する。（45時間以下の区分を、30時間超～45時間以下、30時間以内に細分化）
- ・文部科学省の提示した学校と教師の業務の3分類（3分類19項目）と関連させ、市の方向性や検討すべき課題を明確にする。

A：学校が担うべき業務（1～5）

B：教師以外が積極的に参画すべき業務（6～13）

C：教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務（14～19）

<実施計画>

1 意識改革

教育委員会の取組

学校の取組

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
学校マネジメント体制の充実 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・教員育成指標に適する、かつ安城市の実態にあった研修の実施・精選 ・対面式会合とオンライン会合のハイブリット化 			教：移動時間の削減により、負担なく実りある研修、会合の実現 教：隙間時間を活用した教員力量の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で働き方改革の目標を決め、共通理解のもとで実践 ・O T J を活用した校内研修の充実 			子：子どもと過ごす時間の確保
教員業務への保護者や地域、関係機関等への理解促進 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ電話の夜間切替、勤務時間内での対応等について通知・周知 ・地域、関係機関への協力要請依頼 ・各学校へ随時、録音機能付電話への随時更新 			教：始業前後の各教員の裁量時間の確保 教：電話対応時間の縮減
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域へ各学校の電話の夜間切替時間や勤務時間等をPTA総会等で伝達 			子：児童生徒と関わる時間や教材研究の時間の確保

2 職場環境の整備

教育委員会の取組

学校の取組

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
安城市独自の少人数指導の継続 小1・2 中1	<ul style="list-style-type: none"> ・30人程度学級の少人数指導の充実（市費常勤・市費非常勤講師の配置） ・市費常勤・非常勤講師の人員確保 			教：きめ細かな指導による学習環境の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導の充実 ・少人数指導教員の柔軟な活用 			子：できた、わかったを実感可能

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
教員の確保 定数改善 中 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・不足する教科（特に、技術、美術）の教員確保に向け、大学や関係機関に教員の魅力を紹介 ・中学校35人学級への対応のための人材発掘 ・増加する育短、部分休業への対応として、教員定数の増加を県へ要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の教員を通じて、教員志望もしくは免許保持者が親戚・知人にいた場合、市教委へ連絡 		教：担任または授業数確保ができ、安定した学校運営が可能 子：安定した教員配置による心の安定化、支援の継続化
労働安全衛生管理の充実 メンタルヘルス対策の推進 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・安城市学校職員安全衛生管理規程の施行 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握、改善、若手教員への支援充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員へのストレスチェックの促進、産業医への相談の充実 ・特定学校へのヒアリングの実施等の個別のアプローチ 	教：教職員の健康促進 教：教職員の職場環境改善 子：教職員の健康保持による心の安定化、支援の継続化
安城市立学校ハラスメント防止等推進 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・安城市立学校ハラスメント防止等に関する要綱の施行 ・教職員の支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制の充実 ・各学校の現状の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への周知徹底 	教：一体感のある学校運営の実現 教：教職員の職場環境改善、精神的な安定化 子：教職員の安定化による心の安定、支援の継続化
	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェック実施の促進、衛生管理委員会等の実施 ・管理職による教職員の在校時間の把握、健康状態の現状把握、相談機関への紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委へ制度、要綱等の改善要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委へ制度、要綱等の改善要望 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職により教職員の現状把握、相談活動の充実 			

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
休憩時間の確保に向けた業務改善 小・中	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の休憩時間の取組について調査・把握 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の実態を踏まえ、要望等の実現に向けた施策の構築 		教：休憩時間の確保による業務・環境改善 子：教職員の安定化による心の安定、支援の継続化
	<ul style="list-style-type: none"> 休憩時間の確保に向けた工夫 課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の声を把握し、市教委へ連絡 現場の課題、改善方法等を市教委へ要望 		

3 部活動改革

教育委員会の取組

学校の取組

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
勤務時間内での平日部活動実施 部活動ガイドラインの改訂 中	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間内での平日の活動時間開始 ガイドラインの改訂（地域展開用・学校用） 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の取組状況の把握と改善 国の方針に基づく、ガイドラインの改訂 		教：教職員のゆとり時間の捻出 子：生涯スポーツに向けた意識の芽生え
	<ul style="list-style-type: none"> 制度変更の共通理解 ガイドライン遵守の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 実践した成果、課題、要望を市教委へ報告 		
部活動の地域移行・地域連携の推進（B-13） 中	<ul style="list-style-type: none"> 平日部活動の外部指導者の確保（地域、企業等） 令和8年9月以降の土日終日の施設開放の実施 平日の施設開放に向けた課題解決の検討 			教：部活動の充実 教：地域や企業との連携 子：地域とより強い結びつきによる地域の一員への意識の芽生え
	<ul style="list-style-type: none"> 学区地域や企業において、知人等が外部指導者の意向があれば、市教委に情報提供 			

4 業務改善の推進

教育委員会の取組

学校の取組

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
週当たり授業時間数の見直し 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・週あたりの授業時間数の見直しの議論、検討の依頼 ・各学校の議論結果の集約、実施の有無を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の実情から、授業時間数の削減か可能かどうかを議論、まとめ作成、市教委へ提出 	<ul style="list-style-type: none"> 実施：実情に応じ実施 不実施：現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> 教：余裕ある学校運営の充実 子：余裕ある学校生活の充実
依頼文書の精選 (B-6) 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・発出文書の取扱いにおける現状把握 ・発出文書の精選を試験的に導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・試験的な導入を受けた課題や問題点の整理、報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点や課題随時を改善し、正式導入 ・課題や問題点の整理、報告 	<ul style="list-style-type: none"> 教：印刷にかかる時間の削減 子：児童生徒に関わる時間の創出
録音機能付き電話機の随時導入 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・録音機能付き電話機の随時更新 ・校長室電話の配線等の切替 	<ul style="list-style-type: none"> ・録音機能付き電話導入後の保護者への周知 		<ul style="list-style-type: none"> 教：電話内容の正確な聞き取りの向上 教：保護者等の不当な要求等の削減 子：教職員の安定化による心の安定、支援の継続化

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
複数担任制の研究 小・中	<ul style="list-style-type: none"> 複数担任制導入の利点、問題点等の研究 導入検討校からの相談、指導・助言 バランスのとれた人員配置 		<ul style="list-style-type: none"> 実情にあった方法の提示 人員確保 	教：担任不足の解消 教：複数で児童生徒を観る安心感 子：複数の担任とつながる安心感
	<ul style="list-style-type: none"> 複数担任制導入に向けた校内議論 現職教育での取り組み、先進校への視察 市教委への相談 		実施：保護者への周知、理解 不実施：新たな方法の模索	
臨時免許状の活用 小	<ul style="list-style-type: none"> 中学校のみの免許状保持者に、臨時免許状を授与 小学校免許取得を奨励、小学校での任用確保 			教：専門的知識や技能を有する人材の確保 教：学校運営の円滑化 子：確実な教員配置による教育活動の保障、充実
	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識や技能を有する人材の活用 小学校免許取得への声掛け 			

5 各種体制の整備

教育委員会の取組

学校の取組

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
日本語指導教室の体制整備 小・中	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な取組事例を基にした、安城市版日本語ステーション（仮称）システム構築の研究、首長部局との連携 			教：専門性を生かし、市が主導となり、受け入れ態勢が円滑化 子：教育を受ける環境の充実
	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍児童生徒の指導体制への問題点等を市教委へ報告 			

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果
スクールソーシャルワーカーの全中学校配置 (C-19) 中	<ul style="list-style-type: none"> 市内8中学校へスクールソーシャルワーカー (SSW) 配置完了 (令和8年度) SSWの研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> SSWと教職員とのコミュニケーションの充実 児童生徒に関する情報共有の充実、家庭との橋渡し 積極的な家庭への支援や対応 市教委、関係機関との情報共有、成果報告 	<ul style="list-style-type: none"> 現体制の検証 課題の洗い出し 	教：SSWとの連携による業務の役割分担の明確化 子：対象児童生徒の心の安定化、現状からの救済
教員業務支援員の活用充実と校務支援員の全小中学校に配置 (B-7) (B-8) (C-15) (C-17) 小・中	<ul style="list-style-type: none"> 教員業務支援員の活用充実促進 校務支援員 (県費負担障害者枠任用) を積極的に任用 適正を見極めた人材の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> 教員業務支援員 (市費負担) との共存 適正を見極め、適切な業務を依頼 学校ホームページの作成、ICT機器の日常的点検、授業準備、行事の準備等 		教：教員業務支援員との共存による教員業務の負担軽減 子：児童生徒に関わる時間の確保による心の安定、支援の継続化
不登校児童生徒への支援の充実 小・中	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒支援体制の見直し、再構築、首長部局との連携 校内教育支援センター設置 (中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> 現体制の検証 課題の洗い出し 		教：校内教育支援センター支援員との連携による複数の目で生徒支援 子：校内教育支援センター支援員とのつながり、信頼構築
コミュニティ・スクールの推進 (A-1) (A-2) (A-4) (B-11) 小・中	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材の活用を見据えたコミュニティ・スクールの実施を促進 コミュニティ・スクールにともなう施設面の整備、相談 コミュニティ・スクールに関する研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 導入済：地域人材の発掘、登用、協力体制の構築 登下校見守り、夜間見回り、休み時間入の見守り等の協力体制づくり 		教：地域外部人材の登用により、学校と地域の一体化の推進 教：教職員の負担軽減による学校運営の円滑化 子：地域との深い結びつきの醸成

取組	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組の効果	
学校の開錠・施錠時間の 検討 (B-10) 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・開錠・施錠時間の現状把握依頼 ・教員業務支援員と校務支援員による2人体制の確立 ・2人体制の時間差勤務の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・開錠、施錠実施の検討 	教：教職員の開錠、施錠作業時間の削減 子：児童生徒に関わる時間や教材研究の時間の確保
校務DXの推進 (A-3) 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末のセキュリティシステムの再構築、保護者への周知 ・あいち電子申請システム（スマート申請）の活用有無の検討 ・事務職員負担軽減のための生成AI導入有無の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の電子化 ・学校発出の保護者あて文書の電子化 ・ミライシードやスクールライフノートの有効活用 ・デジタル採点ノートの活用 ・tetoruの欠席確認機能の導入 ・情報教育の充実 	教：電子化による業務量削減、時間的な余裕の創出 子：業務量削減による児童生徒と関わる時間や教材研究の時間の確保
学校プール管理の方向性 検討 (B-9) 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のプール実施について様々な視点から調査研究 ・プール授業の在り方についての体制づくり検討（プール改修、外部委託等） ・改修等箇所の調査、依頼、集約、改修等の有無の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・プール授業実績の記録、報告 	教：環境が整った中でのプール指導の充実 子：環境が整った中での充実した活動
法務相談の充実 (A-5) 小・中	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒対応、保護者対応の事例の共有、不当要求等への対応の検討 ・法務相談員の体制整備の検討 ・市の弁護士活用の検討 ・市教委または市教委と学校長を交えた弁護士相談の設定、実施 			<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒対応、保護者対応の時系列でのまとめ作成 ・市教委へまとめたものをもとに報告、相談 	教：より適切な対応による学校運営の円滑化 子：児童生徒に関わる時間の確保による心の安定、支援の継続化